



諫高だより

ふじ

藤

むらさき

紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

受け継がれる「志の教育」～諫高100年の軌跡～

教頭 石見 茂

受け継がれるDNA

今年の文化祭のメインテーマは「諫高彩発見」、サブテーマが「受け継がれるDNA」である。

100年間の諫高の歴史を振り返るに、なんとふさわしいテーマであろうか。

諫高100年の歴史に受け継がれてきた教育方針は「志の教育」である。つい先日、北京オリンピックが終了した。本校卒業生の森岡紘一朗選手は、20km競歩に日本代表として出場し、惜しくも本人の目標であった入賞は逃したものの16位という成績を残した。彼は、本校在学中、陸上部に所属し長距離を専門にしていたが、高校2年生の時、競歩で日本一を目指すという目標をたてた。そして5年後、日本代表として念願のオリンピック出場という「夢」を実現し、後輩に「志」を持ち続けることの大切さを教えてくれた。また、彼はオリンピック帰国後のインタビューでこう答えている。「10月の国体には、できれば出場させていただきたい。予選に出られなかったことが心苦しいけど・・・。」と言っている。なんと謙虚な言葉であろうか。奢ることなくひたむきに努力する。諫高のDNAは着実に受け継がれている。

創立100年の伝統校

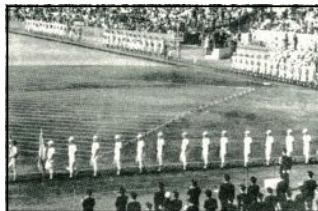
本校の創立は、明治44年(1911年)諫早実科高等女学校に始まり、県立諫早高等女学校、県立諫早中学校を経て、昭和23年の学制改革により、県立諫早高等学校が誕生した。

現在の本校の敷地は、大正12年に県立諫早中学校が開設するにあたって、旧諫早家より寄贈されたもので、特に「御書院」は回遊式日本庭園として、文化財的な価値も高く県内屈指の名庭園である。

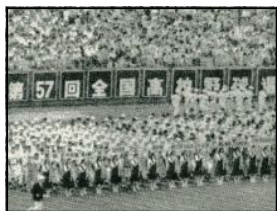
御書院の「心字池」は、現在は指定を解除されているが、諫早大水害以前は、おしどりの飛来する池として、昭和7年に文部省(現在の文科省)より天然記念物の指定を受けている。

本校の校是である「文武両道」の精神は創立当時より、脈々と引き継がれており、多くの著名人を輩出している。中でも芥川賞作家の野呂邦暢氏、現在脚本家として活躍している市川森一氏なども本校の卒業生である。スポーツにおいても、野球部が4回の甲子園出場を果たしている。昭和55年以降は、甲子園とは遠ざかっているが、ユニフォームのストッキングには4回の甲子園出場を記念した4本のラインが鮮やかに引かれている。ここ数年、地区大会優勝からも遠ざかっていたが、つい先日の中地区新人大会では、みごと優勝。古豪復活の兆しが見える。

4度の甲子園出場を果たした諫高野球部



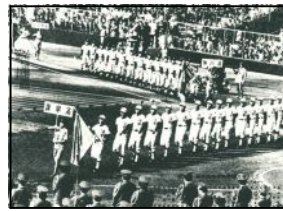
昭和47年 春の選抜大会



昭和50年 夏の選手権大会



昭和54年 夏の選手権大会



昭和55年 春の選抜大会

思い続ける者が勝つ!

平成の年に入ってから、平成5年の陸上部駅伝女子の県高総体初優勝を皮切りに、その年の全国駅伝で9位と陸上部の快進撃が始まる。初の“**全国制覇**”を果たしたのは、平成13年、女子が優勝、男子が6位であった。その後、平成16年に女子は**2度目の全国制覇**を勝ち取った。その年の男子の優勝は仙台育英高校、その3区を走ったのが、北京オリンピックのマラソンの金メダリストであるワンジルである。本校は双子の延寿寺兄弟が活躍し17位であった。「思い続ける者が勝つ!」は、常に大会のスタンドに掲げられる部旗の言葉である。

平成20年8月、今年の夏も諫高生は学習合宿、全国大会出場、夏季課外学習とそれぞれに大きな成果を上げて、秋を迎えようとしている。さらなる飛躍の秋を期待したい。

学部学科説明会(7/29)

進路意識の早期育成を目的に、1・2年生全員を対象とした学部学科説明会を実施しました。参加大学は九州大学をはじめ県内外から8大学、講師の先生方は15名が、本校生徒のために学部学科の説明と模擬授業を実施していただきました。



※写真は各大学別の教室に分かれての模擬授業の様子

協力いただいた大学(学部)

九州大学(理学部)、熊本大学(文学部、工学部)、佐賀大学(理工学部・医学部医学科)
鹿児島大学(農学部)、大分大学(教育福祉科学部)、西南学院大学(法学部)
福岡女子大学(人間環境学部)、長崎大学(経済、教育、医学、薬学、環境科学部)

8・9 平和学習会

講師 長崎平和推進協会継承部会員 恒成 正敏 先生
演題 「私の被爆体験」

当時、16歳で爆心地より1.4kmの距離にある三菱兵器工場で被爆され、焦土と化した長崎市の生々しい状況をお話いただきました。戦争の悲惨さと平和の大切さを改めて痛感しました。



インターハイ(埼玉大会7/27~8/6)

フェンシング部(1回戦敗退) 陸上部(予選敗退)

フェンシング部は、全員2年生で臨んだインターハイであった。惜しくも1回戦敗退であったが、是非来年に繋げてもらいたい。陸上部は、予選で敗退したものの、記録的には自己ベストをいくつか出しており、確実に都大路の手応えを掴んでいる。

おめでとう 理数科 最優秀賞

大会名: 10回中国・四国・九州地区理数科高校課題研究発表会(沖縄大会)

タイトル: 「ペーパーマッシュルームの研究」～廃棄プリントをゴミにしないために～



発表の様子



表彰風景

生物班: 2年「ペーパーマッシュルーム」班
荒木圭子・下田優衣
川上夢奈・村上佳子・淵上彩

この大会は本校にとっては、2回目の最優秀賞である。今回も、研究内容・プレゼンテーション能力ともに非常に高い評価を得た。また、発表後の質問も一番多く、この研究に対する関心の高さを物語っている。

全国総合文化祭(群馬大会8/9)



美術工芸部門の開会式

ギターマンドリン部

器楽・管弦楽部門 文化連盟賞

美術部

作品の前で顧問の
糸山先生と記念撮影
(3年 中道 乃莉子)



NHK杯全国高校放送コンテスト(東京7/22~26)

(3年: 武藤杏里、日向春菜、末次香織、原 奈菜美)

テレビドキュメント部門 入選

おとこ
タイトル『男の中の 漢』

～諫高応援団団長～



校内の表彰風景

野球部 中地区新人大会 優勝

《対戦結果》

予選リーグ 諫早 13-西陵 3、諫早 3-高原 0、諫早 1-高原中央 8、諫早 10-高原農 0

準々決勝 諫早 4-対馬 2

準決勝 諫早 2-大村工 1

決勝 諫早 6-小浜 3



成果は必ず…

1年学習合宿(7/21~7/25) 場所:佐世保九十九島観光ホテル

(1年 学習合宿スローガン)

“覚悟! 努力! 諫高道!!!”

～築け黄金サイクル

夢に向かって全力疾走～



一斉学習風景 (1年)



朝の散歩 (1年)

3年学習合宿(8/5~8/11)

場所:雲仙青雲荘(男子)
いわき旅館(女子)

(3年 学習合宿スローガン)

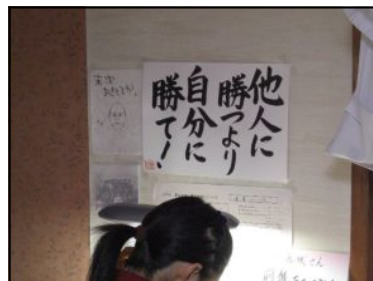
“一人で見る夢はただの夢、みんなで見るとは現実となる”



食事風景(3年)



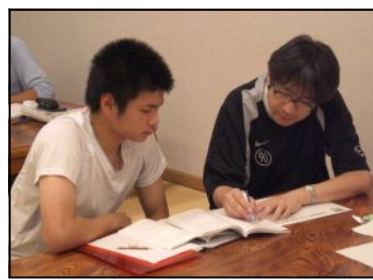
自学風景 (3年)



質問風景 (3年)



質問風景 (3年)



9月の行事予定

9/6(土)文化祭

テーマ:「諫高彩発見」～受け継がれるDNA～

開始時間:8時40分～

会場:体育館(第1・第2)・教室・中庭

※諫高100年の歴史を振り返る企画展も開催します。

9/14(日)体育大会

テーマ:「諫五輪」～君に見せたい秋がある～

開会式:8時50分～

会場:諫高グラウンド